

作成：令和2年 6月 2日

改定：令和2年10月20日

施設利用者様

## 湘南台文化センター市民シアター

### 湘南台文化センター市民シアター使用についてのガイドライン

新型コロナウイルスによる肺炎（感染症）の感染を防止するため、施設の使用に際しては10月20日から当面の間、以下の条件をご確認いただき、遵守するようお願いいたします。

なお、施設のご利用には申請時にお渡しする別紙の「湘南台文化センター市民シアター使用のためのチェックリスト」を、よくお読みいただきチェック署名し申請前に提出して頂きます。

本ガイドラインは、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長「11月末までの催物の開催制限等について」（令和2年9月11日）及び公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改訂版」（令和2年9月18日）を参考に作成しております。

なお、国等のガイドライン等に変更があった場合、本ガイドラインを変更することがあり、変更となった場合は、施設使用日時点のガイドラインが適用となりますのでご注意ください。

#### ①マスクの着用・消毒・咳エチケット・検温

- ・ イベントを告知する際、来場者全員にマスクの着用を呼び掛けてください。  
（施設受付にてマスク販売あり）
- ・ マスクをお持ちで無い方に対しては、入場をお断りいただくか、主催者が配布用マスクをご準備ください。
- ・ 主催関係者、出演者およびイベントスタッフはマスクを着用してください。
- ・ 利用施設の入り口に、消毒液を常備し、利用を呼び掛けてください。  
（ホール入口×2・楽屋口×1・受付入口（リハ室・スタジオ兼用）×1は電解水設置済）  
その他は主催者をご用意ください。
- ・ こまめな手洗いや咳エチケットなどの感染防止にご配慮をお願いいたします。
- ・ 咳や発熱など風邪などの症状がある方、体調がすぐれない方、基礎疾患のある方のご入館はお控えくださいますようお願いいたします。
- ・ 来館前に各自検温を促し、お越しいただいたグループ内で37, 5℃以上（または平熱より

も1度以上高い)の方がいらっしゃる場合及び下記の症状に該当する場合も、その方を含むグループ全員のご入館をお断りいたします。

(咳・呼吸困難・全身倦怠感・咽頭痛・鼻汁・鼻閉・味覚嗅覚障害・眼の痛みや結膜の充血・頭痛・間接筋肉痛・下痢・吐き気・嘔吐など)

また、公演主催者側でも入場時に検温等の対策を講じて下さい。

(貸し出し用非接触型電子温度計あり・有料)

## ②換気

・常時換気を行うため、施設の扉はすべて開けた状態で催事を行ってください。

やむなく扉を閉めなければいけない場合は、こまめに開放して、換気を行うようにしてください。

※リハーサル室・スタジオに関しては閉扉禁止とさせていただきますので、あまり大きな音が出る物をご遠慮ください。

(楽屋周り数箇所・舞台袖上下・リハ室などに送風機設置済)

## ③間隔を空けた受付・会場前・楽屋・出演者の立ち位置等

・濃厚接触 (対面で人と人との距離が近い接触・互いに手を伸ばしたら届く距離で2 m程度)を避ける。

仕込み・リハーサル・撤去

・できるだけ少人数で出来る十分な時間を設定し、必要最低限の会話で、密な空間の防止に努めてください。

・使用後の施設内は、特に人の触れるところを中心に消毒液を用いた消毒をお願いいたします。

・催物等の終了後は、速やかに退場するよう案内をしてください。

公演会場出入口・チケット (受付) 窓口

・会場入口の行列は、最低1m (できるだけ2mを目安に)の間隔を空けた整列を促してください。

・チケット窓口及び受付は、対面で販売及び受付作業を行う場合はアクリル板やビニールパネル(会館既存1800×870×2基あり)により来館者との間を遮蔽しゃへいするよう努めてください。

・料金徴収等を行う場合はトレーでの金銭受け渡しをしてください。

・入場時のチケットもぎりの際は、フェイスシールド及びマスクや手袋を着用するようにしてください。

また、来場者が自分で半券を切って箱に入れ、公演主催者がそれを目視で確認するといった方式等もぎりの簡略化及びオンラインチケット化の導入を推奨します。

- ・チラシ・パンフレット・アンケート等の手渡しは極力避けてください。  
また避けられない場合はフェイスシールド及びマスクや手袋の着用を徹底してください。
- ・公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触は控えるよう周知してください。
- ・プレゼントや差し入れ等は控えてください。
- ・退場時は余裕を持った退場時間を設定し、時間差での退場等の工夫を行ってください。

#### 施設内

- ・来場者の配席については、原則として指定席にするなどして主催者側で客席状況を管理調整できるようにしてください。
- ・地域の感染の収束状況、公演の内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による大声での歓声、声援、唱和等がないことを前提としうる公演については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、**ホールについては収容定員までの収容率100%以内（最前列席については下段記述参照）**とすることが可能です。

なお、当該イベント主催者において、過去の開催実績や上記の開催条件に当てはまらない場合は、この要件に該当しないものとして**収容率50%以内とする。それ以外の施設については収容定員の収容率50%以内となります。**

ホール（定員600人）：定員 固定席600人以内 前迫り使用時前2列使用不可543人以内（要相談）
楽屋①（定員16人）：定員 8人
楽屋②（定員12人）：定員 6人
楽屋③（定員14人）：定員 7人
楽屋④（定員8人）：定員 4人
リハーサル室（定員80人）：定員 40人以内（前後左右1m以上の間隔を取る）
スタジオ（定員10人）：定員 5人以内

**※ホールの定員以外は50%制限を維持しています。**

- ・また、高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- ・隣同士の配席とする際には、座席のひじ掛けの使用について、原則、左右いずれかに統一するように要請してください。
- ・**客席の最前列席は舞台前から十分な距離を取ることとし、最低でも水平距離で2m以上を設けてください。**それが困難な場合には、フェイスシールドの着用など距離を置くことと同等の効果を有する措置を講じてください。
- ・公演者等は、舞台上等で出演者間においても1mを目安とした間隔を取り感染防止策を講じて下さい。

- ・その他、催物等の内容により、各団体（一般社団法人合唱連盟、クラシック音楽公演運営推進協議会、緊急事態舞台芸術ネットワーク等）が定めるガイドライン等を参考とし、必要な措置を取ってください。
- ・講習などの際に質疑等がある場合は、質疑エリアを確保し、そこから前後左右1 m以上間隔を取る措置を取ってください。

#### ロビー・休憩スペース・トイレ

- ・対面での飲食や会話を回避するよう表示や館内放送等により促すようにしてください。
- ・公演前/休憩中/公演後に人が滞留しないよう、段階的な会場入り等の工夫を行ってください、また演者と観客が接触しないようにしてください。
- ・テーブル、椅子等の物品の消毒を定期的に行ってください。
- ・トイレの混雑が予想される場合、最低1 m（できるだけ2 mを目安に）の間隔を空けた整列を促してください。
- ・会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での会話や滞留を抑制するように促してください。

#### ④次に該当する活動では可能な限り控えるようお願いいたします。

施設の各箇所において3つの「密」（密閉・密集・密接）の条件が重なる環境の発生を防止し、感染リスクを軽減させることが求められます。

- ・ 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
- ・ 密集場所（多くの人が密集している）
- ・ 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）
- ・ 各会場の定員を超える人数での活動
- ・ 人と人が触れ合う活動
- ・ 激しい呼気を伴う活動
- ・ 飛沫が拡散してしまう活動
- ・ マスクを外す必要性がある活動
- ・ 感染リスクが高まるような演出（声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）

#### ⑤催事関係者および来場者の連絡先の確認

- ・参加者（催事関係者および来場者全員）の氏名、電話番号、住所（市町村名のみ）をまとめた名簿を作成するなど、把握してください。（1ヶ月間保管）

感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。なお、個人情報保護の観点から、名簿等の保管は十分な対策を講じるようにしてください。

- ・厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」

神奈川県「LINE コロナお知らせシステム」もご活用下さい。

以上のガイドラインを元に主催者側で責任をもって判断し、安全に催物を遂行して下さい。

以上